

## 東京都医師会糖尿病予防推進医講習会開催概要

1. 開催趣旨 厚生労働省の2002年の糖尿病実態調査で、国内で糖尿病になっている人は約740万人、可能性を否定できない「予備群」と合わせると約1620万人にのぼる、という結果が明らかになりました。5年前の初調査に比べ予備群を中心に計250万人増え、成人の6.3人に1人の割合になります。高齢化や食生活の変化で患者数は今後も増えて2010年に1千万人を超える懸念もあり、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が共同して糖尿病対策推進会議を設立し糖尿病の発症予防、早期発見、合併症の予防を促進することとなり、東京都医師会でもこれ以上糖尿病が増加しないよう、生活習慣の改善や健診の充実を改めて呼びかけています。

この多くの糖尿病予備群の早期発見、早期治療、生活習慣改善指導は、糖尿病専門医のみが携わるのでは不十分で、地域でのかかりつけ医が積極的に関わらなければ実現しないと考えられます。一方必ずしも糖尿病診療を専門としない医師が関わるためには、一定の水準以上の糖尿病に関する知識技術を共有し、都民の指導に当たる必要があります。また健診などから発見された予備群を含めた糖尿病の事後指導は重要で、健診主催者の自治体、健保組合でも今後は地域のかかりつけ医に委託する方向性が打ち出されています。そして事後指導実施可能の医療機関のリストの提供を要望する動きも見られ、かかりつけ医の関与は急務と考えられます。

そのため東京都医師会は健診事業に携わる地域でのかかりつけ医を対象に、「糖尿病予防推進医」を養成する講習会を開催することとなりました。

2. 日時 平成18年11月26日(日)  
受付開会挨拶 9:00~  
講習会 9:30~16:00
3. 場所 東京医科大学病院 臨床講堂  
(新宿区西新宿6-7-1)

4. 講演内容
- (1) 「糖尿病外来の実際」 (患者さんとの上手なコミュニケーションの取り方) 9:30~10:00  
藤川 眞理子
  - (2) 「糖尿病外来の実際」 (初診時、再診時診療のポイント) 10:10~10:40  
宮川 高一
  - (3) 「糖尿病外来の実際」 (糖尿病合併症とその対策) 10:50~11:50  
菅原 正弘
  - (4) 「薬物療法」 13:05~13:50  
西村 理明
  - (5) 「運動療法」 13:55~14:40  
井上 昌彦
  - (6) 「専門医との連携」 14:45~15:30  
黒木 宏之

5. 講師 東京都医師会生活習慣改善指導推進事業検討委員会委員

6. 対象 地区医師会糖尿病関係担当役員等で今後地区医師会において糖尿病予防推進事業の中心となる担当者等  
(1地区医師会5名程度を予定、ただし北多摩医師会・西多摩医師会は、複数の市町村を含むので5名を超えても構いません)  
計約250名

7. 受講料 3,000円(テキスト代等を含む実費負担)

8. 周知・申込 地区医師会に周知し参加者の推薦、取りまとめ等を依頼

9. 主催・後援 主催：東京都医師会、後援：東京都糖尿病対策推進会議

10. その他

(1) 当日配布テキスト

委員会作成テキスト

糖尿病治療のエッセンス」(糖尿病対策推進会議「糖尿病治療のエッセンス作成委員会」

「糖尿病治療ガイド」(日本糖尿病学会編)

その他関連資料は、委員会の承認を得て配布を決定

(2) 本講習会の受講者には、東京都医師会長名で「講習会受講修了証」を発行する。

## 東京都医師会糖尿病予防推進医講習会次第

日時：平成18年11月26日(日)

会場：東京医科大学病院 6階臨床講堂

進行：東京都医師会理事 近藤太郎

1. 挨拶 東京都医師会長 鈴木聡男

### 2. 講演

(1) 「糖尿病外来の実際」(患者さんとの上手なコミュニケーションの  
取り方) 9:30~10:10 藤川真理子  
座長 竹下俊文

(2) 「糖尿病外来の実際」(初診時、再診時診療のポイント)  
10:15~11:15 宮川高一  
座長 竹下俊文

(3) 「合併症とその対策」  
「食事療法」 11:20~12:20 菅原正弘  
座長 鷹箸右子

(4) 「薬物療法」 13:20~14:10 西村理明  
座長 鷹箸右子

(5) 「運動療法」 14:15~14:55 井上昌彦  
座長 松本章一

(6) 「専門医との連携」 15:00~15:40 黒木宏之  
座長 松本章一

3. 閉会挨拶 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課長 福内恵子